

現役最年少 前橋市議会議員

つつみ はじめ

平成29年度 議員活動報告

市議会議員のつつみはじめです。
 日頃より、議員活動にご理解を頂きありがとうございます。
 ございいます。

昨年二月の市議選において、現役最年少で

当選をしてから早や一年が経ち、

今日まで全ての議会で質問に立ち

要望をしてきましたので、活動をご報告します。

尚、日々の活動はホームページで公開をしていますので
 ご覧ください。

10年経っても40歳、20年経っても50歳。

しっかりと仕事をする議員だと感じて頂けるよう
 これからも励み続けます。

本年も何卒、よろしくお願い致します。

平成三十年一月

堤 波志芽

はじめの
一歩

つつみはじめ事務所

〒371-0025 前橋市紅雲町二丁目10-15

TEL/FAX: 027-224-4646

E-mail: t.hajime@almond.ocn.ne.jp

つつみはじめ

検索



初当選で号外に!?
現役最年少の当選者として
上毛新聞の号外に!



2月13日号外

3月議会での要望
2019年ラグビーWCキャンプ地誘致

本市は「どろんこラグビー祭り」を開催するなどラグビーに力を入れています。
この機会に、公認キャンプ地を誘致できるよう要望。

市へ要望書を提出!
旧中央小跡地利用要望!



中央小自治会連合会と跡地利用について協議を行い、取りまとめた要望書を市長へ提出。具体的な跡地利用について動き始めてからでは、意見を言うのは難しいことから、先に地元要望を取りまとめた。

8月7日に市へ要望

3月議会での要望
前橋駅での3月のJRダイヤ改正について

前橋駅では、3月のJRのダイヤ改正において列車本数が減便。
高崎駅の接続について
新幹線と両毛線との乗継の円滑化や普通列車の停車時間の短縮化によって利便性が向上し、利用者の増加を要望。

陳情への対応①
色あせた標識を新しく(表町内)



陳情への対応②
道路の舗装(表町内)



陳情への対応④
不法投棄の撤去(利根川河川)



**現役最年少
前橋市議会議員**

つつみ はじめ 上半期

6月議会での要望
旧町名の活用について

私も地元でもあることから。周囲から旧町名の復活や活用を求める声を、耳にする。
実際に旧町名を復活させるにはハードルが高いことは承知しているが
標柱の設置や通り名の設定を検討頂くよう要望。

陳情への対応③
公園の砂場整備(若草公園)
公園の砂を入れたら




こんな光景を見るようになった

6月議会での要望
災害時の情報発信について

災害時は停電になることも考えられます。インターネットが苦手な高齢者などへの対応もしっかりとお願い致した。
今、逃げるべきなのか、留まるべきなのかどこへ逃げればいいのか。
そういった判断のための情報が二次災害を防止。正確で迅速な情報の発信体制をお願いした。

人生100年時代へ!
拡大市政報告会の開催!



長寿化
これから生まれる子は、平均寿命が100歳を迎える時代がくる。これからも考える政治家として、何をしていかなければならないのか、私の考えを語らせて頂き、300名近くの方にご参加頂いた。

6月4日開催

卓球のまち前橋に!
新卓球全国大会を開催!



4月5日~6日開催
2日間の開催で90歳以上の方も含め全国から300名の方にご参加頂いた。

初本会議で

早速質問・要望

3月第1回定例会

先の前橋市議会議員選挙において、現役最年少で初当選した、つつみはじめ。3月2日より28日間開催された、第1回定例会(本会議・委員会)の活動報告。

主に平成29年度予算審議。一般会計予算は1,458億円余りで、対前年度比では1.2%の減。その中で、新たに始める事業、充実する事業など色々な取り組みがある。

この先、人口減少や法人税引下げによる減収、地方交付税の大幅な減額など歳入が厳しい中で、高齢化に伴う医療や介護などの社会保障費増加や施設の長寿命化対策など歳出のさらなる増加が見込まれ、厳しい財政状況が続くことが予想される。

以下は、総括質問をした内容。「未来に負担を残さない。」できるだけ税金をかけず、市外からの交流人口増加策を中心に質問と要望をした。

市内施設の利用状況と予約方法の改善

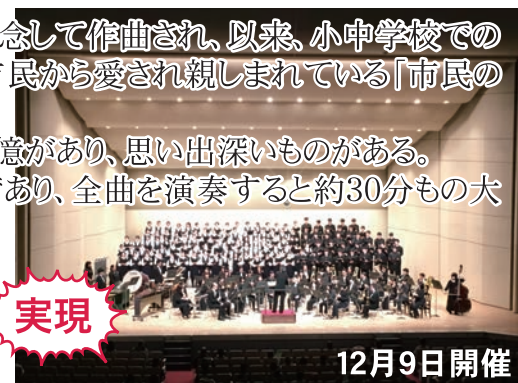
現在施設ごとに所管が違うことから、予約方法や手続きが違い、利用者から不便という声がある。できるだけ多くの市民に施設を利用頂き、またそのイベントを通じて多くの方に来橋頂く。そうやって市民が活用できる舞台を作っていくことが、交流人口の増加に繋がる。施設を利用したい市民が簡単にその目的に合った施設を見つけ、そして簡単に予約できるよう、窓口の一元化へ向け、改善を要望した。

教育福祉常任委員会にて市歌「赤城嶺に」普及事業の取り組み

前橋市の歌「赤城嶺に」は、昭和57年に市制施行90周年を記念して作曲され、以来、小中学校でのすい奏楽の演奏をはじめ、カラオケでも配信されるなど、多くの市民から愛され親しまれている「市民の宝」であります。

私自身も小学校のときよく歌い、前橋まつりなどでも演奏した記憶があり、思い出深いものがある。

普段、私たちが聴いているのは、「赤城嶺に」の後半部分の曲であり、全曲を演奏すると約30分もの大曲となると聞いておりますが普及に取り組んで下さい。



実現

12月9日開催

JR高崎駅での接続改善

「前橋駅では、この3月のJRのダイヤ改正において、列車本数の減便が行われた。」

原因は、前橋駅利用者の減少。本市と首都圏との交通需要は大きく、新幹線や在来線の直通列車の利用者が多数いるが、市民の中には、「新幹線を利用する際、前橋駅からだと高崎駅での乗り継ぎが悪く待ち時間が長い」また、「前橋駅から湘南新宿ラインを利用した際、高崎駅での停車時間が長い」ことから、車で直接高崎駅まで行き、列車を利用するという声もある。

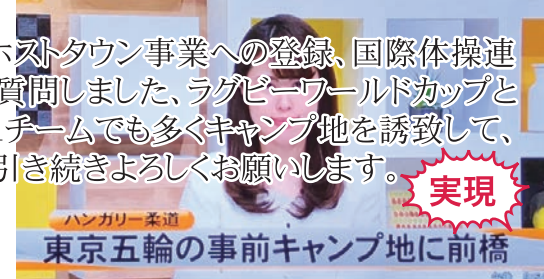
高崎駅の接続について、新幹線と両毛線との乗継の円滑化や直通列車の停車時間の短縮化によっても、利便性が向上し、利用者が増加するものと考えられる。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致

「この3月に市内施設の確認が行われた」

1964年以来、56ぶりの自国開催ということもあり、これから益々気運が高まっていくと考えております。

そこで、キャンプ地誘致についてハンガリーを相手国としてホストタウン事業への登録、国際体操連盟会議でのロビー活動など誘致活動を進めています。前に質問しました、ラグビーワールドカップと同様に、こういった機会はそう何度あるものでもありません。1チームでも多くキャンプ地を誘致して、来橋者の増加と本市の知名度アップに繋げていけますよう引き続きよろしく申し上げます。



実現

東京五輪の事前キャンプ地に前橋

2019年にラグビーワールドカップキャンプ地誘致

「2月に本市にて組織委員会の現地調査が行われた」

隣の埼玉県は、試合会場の一つであり、前橋でキャンプを張る可能性が高い。公認キャンプ地となれば、交流人口も増え、その翌年開催予定の東京オリンピックのキャンプ地誘致にも繋がる可能性がある。本市は「どろんこラグビー祭り」を開催するなど、ラグビーに力を入れている。この機会に、公認キャンプ地を誘致できるよう要望した。

市政報告会

報告事項

- ・新桃井小学校とコミュニティーセンター
- ・旧中央小学校の跡地利用
- ・前橋駅前高層複合マンション開発
- ・マイタクの利用



4月23日開催



4月28日開催

2～3月の政務活動等

- 当選証書授与 2/13
- 一中卒業式 3/13
- 第一回定例会 総括質問 3/14
- 教育福祉常任委員会 3/17
- 上武道路 開通式 3/19
- 桃井小学校 卒業式 3/23
- 朝倉小学校 閉校式 3/24
- 第四保育所 終了式 3/28
- 広瀬川河畔景観形成計画 住民説明会 3/28

防災対策!

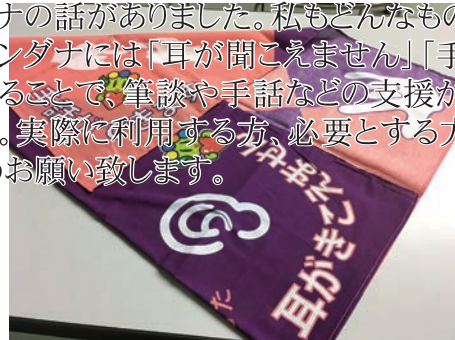
旧町名の活用

昭和40年から42年にかけて本庁管内を中心に町名が変更になりましたが、私も地元でもあることから、周囲から旧町名の復活や活用を求める声を、よく耳にします。私が生まれる15年以上も前のことですが、現在でも桑町会館や堅町通りなど、名残があります。そんな中で、実際に旧町名を復活させるには、かなりハードルが高いことは承知しておりますが、提言されているような標柱の設置や、通り名の設定などは比較的实现性が高いと思います。

町名を変更して既に半世紀近くが経とうとする中で、今さら…という意見もあるかもしれません。それぞれ独特な町名には意味がある。これが歴史文化遺産だと感じます。実際に石川県金沢市や長野県松代市など、旧町名の復活に、先進的に取り組んでいる自治体もあり、標柱の設置や通り名の設定を検討頂くよう要望します。

災害時の聴覚障害者支援

熊本の震災から早1年が過ぎました。特に地震はいつ起こるかわかりません。今この瞬間に起こることもありえます。いざという時の備え、そして起きたときの対応を常に意識している必要があります。そんな中、先日、聴覚障害者の方とお話しをする機会があり、そこで太田市で導入した災害時の太田市へ聴覚障害者支援バンダナの話をしました。私もどんなものかと、太田市にお願いをして、実物を見てきましたが、バンダナには「耳が聞こえません」「手話ができます」の文字が大きく印刷されており、身につけることで、筆談や手話などの支援が必要であることを伝えることが期待されるとのことでした。実際に利用する方、必要とする方々にとって何が一番いいのかを考えて、進めて頂けるようお願い致します。



耐震補助制度

1日のうちで多くの時間を過ごすのが、自宅です。熊本地震でも阪神淡路大震災でも死因の多くは、住宅の倒壊や家具の転倒による圧死でした。私の地元は、木造家屋が密集している地域も多くあり、震災に強いとは言えません。本市でも住宅の耐震補助について耐震診断や耐震改修事業を行っておりますが、本制度は旧耐震基準が対象とのことで、昭和56年前の建築物の持ち主となると、ある程度高齢になり、改修費用も高額であることから簡単にできるものでもないと感じます。今後も耐震診断の周知・実施と、そこからの耐震改修を進め、命を守る住宅となるようよろしくお願い致します。

災害から命を守る。

6月 第2回定例会

本会では災害時の情報発信体制や、高齢者や障害者などの避難困難者への対応など災害対策を中心に質問と要望をした。また労働人口の減少対策としてシニアや子育てをひと段落したママへの、所謂セカンドキャリアへの就労支援を提案するとともに、歴史遺産の活用策として、旧町名の活用を提案した報告である。

また去る6月、大分県と福岡県を中心とする九州豪雨災害により多くの死者が出た。私は防災士であり、消防団員でもあることから、防災には人一倍関心があり、早速7月に大分県へ行ってきた。

災害時の情報発信

熊本地震のときも偽情報が流れ、逮捕者まででるなど、正確かつ迅速な情報発信が重要です。インターネットを通しての情報発信は迅速に、手軽にできることから正確な情報の発信となるようお願いするとともに、災害時は停電になることも考えられます。インターネットが苦手な高齢者などへの対応もしっかりとお願ひ致します。

今、逃げるべきなのか、留まるべきなのか、どこに逃げればいいのか。そういった判断のための情報が、二次災害を防ぎます。正確で迅速な情報の発信体制をお願い致します。

シニア向け就業支援

「就業に困っている」という点でいうと50代や60代などのシニア世代や子育てをひと段落した女性などの、いわゆるセカンドキャリアです。職業安定所では、仕事に年齢での基準を設けることができないことから、シニアが面接へ行ってもうまくいかないケースを耳にします。これからますます平均寿命が上がっていく中、労働人口減少の対策として、シニアなどのセカンドキャリア向けの就業支援の検討を要望します。

それに併せ、昨今本市でも増えてきております、外国人も大きな労働力です。本市でも5月末時点で、現在5,700人余りの外国人が居住しておりますが、その方々が働きやすい環境となるよう、外国人向けの就業支援も重ねて要望します。

4月～6月の政務活動等

- 前橋フットボールセンター オープン 4/1
- わかば小(旧朝倉小と旧天神小)開校式 4/7
- 萩原朔太郎の記念館 オープン 4/8
- 前橋駅北口再開発事業 住民説明会 4/10
- アーツ前橋 意見交換会 4/11
- 大利根育英幼稚園 行政視察 4/18
- 前橋赤十字病院 行政視察 4/18
- つつみはじめ市政報告会 4/23
- 泉大津市 行政視察 5/24
- 和歌山市 行政視察 5/25
- 刈谷市 行政視察 5/26
- 前橋フードバンク事業 スタート 6/1
- 第二回定例会 総括質問 6/23

9月議会での要望
旧中央小の跡地利用について!

校舎がいつまでも廃校状態であることは防犯面でも景観面でも維持管理面でも良好な状態とは言えません。



私も7月に岩手県紫波町のオパールプロジェクトを視察してきました。駅前の10・7ヘクタールの広大な町有地が、10年以上にわたり塩漬けになっていた土地に公民連携して複合施設を作り成功している事例です。

旧中央小の次どうなるか
計画が進むまでは**市民や地域住民にも利用できる**ようにして頂けると助かります。

陳情への対応⑤
壊れた歩道のポールをすぐに修復(紅雲町内)

市政報告会開催!
年4回実施していきます!

12月13日開催

「変わる前橋」と題して、太陽の鐘、日赤跡地、道の駅の進捗状況と議員になってのこの10カ月なにをしてきたかを報告。

後援会研修旅行①
ちちぶ銘仙館研修
長瀬紅葉ライン下りツアー

11月30日開催

後援会研修旅行②
グリコピア研修
深大寺紅葉ツアー

11月17日開催

現役最年少 前橋市議会議員 つつみ はじめ 下半期

いよいよ4月1日!
桃井小学校スタート!

第1コミュニティセンター・児童クラブを併設!

第1コミュセンについて
利用予約:3月より受付開始見込み

利用料金

部屋名	午前 9時~12時	午後 13時~17時	夜間 18時~22時
和室(1F)	270円	370円	
ホール(2F)	1290円	1720円	

市へ要望書を提出!
日赤跡地に医療施設を残す!

12月4日に市へ要望

6月に移転予定の日赤病院の跡地に医療施設を残すよう中川地区連合会と要望書を市長へ提出。当院は地元住民にとっても長く利用されており、当院があることで安心して生活をしていくことができた。

それが移転とともに医療施設がなくなってしまうことに、不安の声が挙がっている。特に同地区は高齢化率が非常に高いこともあり今後も尽力していく。

12月議会での要望
これからは子育て支援を!

産後数日で病院から出されてしまい、不安があった。子供を遊ばせるような施設は充実しているものの離乳食を購入し市政報告会開催! 保育園でのおむつの持ち帰りについて。求職中では保育園に入れづらい。

「子育てするなら前橋市」と、言うのではなく**言って頂けるよう前橋らしい取り組みを一つ一つしていきます。**

12月議会での要望
これからは学校教育を!

アクティブ・ラーニングの実現に向けて各小・中・特別支援学校へ校内無線LANなどのICTを先進的に整備。

私も先日、都立高校で取り入れられている**アクティブラーニングの授業**について聞いてきました。前橋らしい学校教育に育っていくよう期待しております。

陳情への対応⑥
普段は自転車で地域を走りまわってます!

旧中央小の跡地利用



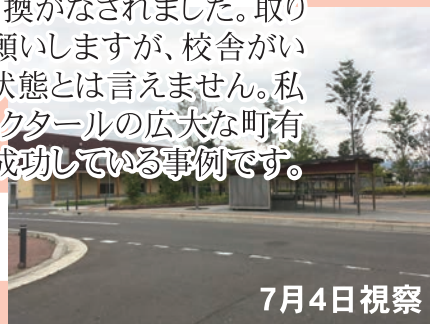
9月 第3回定例会

つつみはじめが市議会議員になり3回目の定例会も登壇し、要望した。行政視察で学んだ先進事例や個人で参加した会議や行事、また頂いた陳情をもとに要望。

本会ではまず、旧中央小の今後について要望した。来年4月から新校舎へ移る予定であり、その後の跡地利用や避難所はどうなるのか。また厳しい財政状況や少子高齢化による減収で、行政の金銭的な支援も今後変わってくると感じている。これからは、もっと人と人との交流を促進し、化学反応によって新しいものが生まれるしくみづくりができるよう要望した。

👉 廃校になっても住民が利用できるよ!

先日、旧中央小地区自治会連合会にて、旧中央小の跡地利用について意見交換がなされました。取りまとめた要望は、市長宛に提出させて頂き、今後の協議に取り入れて頂くよう、お願いしますが、校舎がいつまでも廃校状態であることは、防犯面でも景観面でも、維持管理面でも良好な状態とは言えません。私も7月に岩手県紫波町のオガールプロジェクトを視察してきました。駅前の10・7ヘクタールの広大な町有地が、10年以上にわたり塩漬けになっていた土地に公民連携して複合施設を作り成功している事例です。計画が進むまでは市民や地域住民にも利用できるようにして頂けると助かります。



7月4日視察

👉 視察を活かして、動画で観光PRを!

先日、別府市へ「湯～園地」計画の取り組みを視察してきました。民間の遊園地で温泉を使って2日間のイベントを行う企画ですが、そもそもこの企画のイメージ動画を制作し、動画再生回数が100万回を超えたら実現するという斬新な公約にもかかわらず、わずか3回間で目標の再生回数達成し、最終的に370万回以上を超え、現実的に企画を実施しました。連日メディアで取り上げられ、全世界50カ国以上で放送され、広告費換算で約50億円とのことでした。ただ、たくさん作ってアップして終わりというだけでなく、ターゲットを明確にし、それに合った発信媒体を活用していくのと併せて、動画やソーシャルネットワークでは担当などを一元化し、発信力の強化をしていけるよう、お願い致します。



7月13日視察

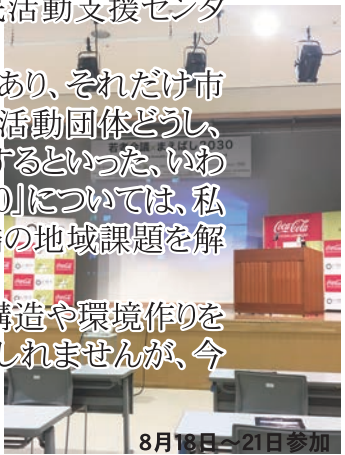
避難所はどうなる!?

👉 市民活動支援の充実を!

税収の減少や市民要望が多様化していく中で、行政サービスにも限界があると感じております。そんな中、昨今は民間企業や市民団体など多くの市民が、本市のためになにかしたい、なにかできないか、と色々なところで動き始めているように感じます。私も前橋市民活動支援センターで、話しを聞いてきました。

来館者や登録団体がともに増えてきているというのは非常に嬉しいことであり、それだけ市民活動が盛んになってきていることを改めて感じます。同センターには、市民活動団体どうし、あるいは、市民活動団体と行政などをニーズに合わせて、つなぐ、マッチングするといった、いわゆる中間支援組織としての役割も重要と考えます。「若者会議×まえばし2030」については、私も3日間にわたり、参加させていただきましたが、全国から集まった若者が前橋の地域課題を解決するための企画を立案するという、すばらしいプロジェクトと感じました。

意欲のある市民を支援し、これからは人と人が助け合い、支えあっている構造や環境作りをしていきたいです。委託であることから、本市として運営はまた別のこととかもしれませんが、今後でもできる限り支援頂けるよう要望させていただきます。



8月18日～21日参加

👉 自治会活動の支援の充実を!

少子化や共働き世帯の増加から、自治会運営が厳しくなっているという耳にします。お祭りや廃品回収の実施、また育成会など子育て世代では役員のなり手がおらず苦悩している地区もあるようです。

本市としては、各自治会へ一括交付金というかたちで、支援を行っておりますが、先日ある町の納涼祭へ伺った際に、大学生が手伝っているのを目にしました。

もともと大学と町との交流があり、実現したそうですが、その町に住んでいるわけではなく、また地元も全然違う学生たちが、町の人と触れ合い、馴染んでおり、祭り全体の活気にも繋がっているように感じました。

交付金が評価を頂いているのはわかりますが、今後はそういった支援だけでなく、先の質問の市民活動支援のように、必要とあれば、学生や若者といった、人的な紹介支援があってもいいのと感じます。また、そういった学生が、地域との繋がりと通して、ここに住みたいと思いきっかけとなり、定住促進に繋がれば、こんなにありがたいことはありません。

👉 一中北校舎、完成!



教室や廊下に木材を使用することにより、生徒への健康面、情緒面に配慮した。8月より授業も開始!

7月～9月の政務活動等

- 由利本荘市 行政視察 7/3
- 紫波町 行政視察 7/4
- 宇都宮市 行政視察 7/5
- 前橋市中体連 開会式 7/6
- 三島市 行政視察 7/13
- 立地適正化計画 市民説明会 7/16
- 自殺対策推進協議会設置 7/26
- 旧中央小跡地利用 市へ要望 8/7
- 前橋四公祭 実行委員会議 8/8
- 戦没者追悼式 8/15
- 臨江閣リニューアルオープン 8/19
- 第三回定例会 総括質問 9/13
- 教育福祉常任委員会 9/15
- ヒルクライム 9/24

第7次総合計画 この先の10年は

子育て! 教育! 高齢者福祉!

👉 これからは子育て支援を!

子育て支援は非常に重要であると感じております。すでに何年も前から少子化という言葉が叫ばれ続ける中、自治体間競争において、各自治体は大きな成果を出せぬまま試行錯誤しておりますが、本市においても合計特殊出生率が1.51と特出して高いとは言えません。

先日、本市在住の子育てママとお話する機会がありました。「前橋は支援が充実している」とお褒めの言葉を頂く一方、産後数日で病院から出されてしまい、不安があったことや子供を遊ばせるような施設は充実しているものの離乳食を購入したり食べさせる場が少ない、また保育園でのおむつの持ち帰りや、求職中では保育園に入れづらいといった意見を頂きました。「子育てするなら前橋市」と、言うのではなく、言って頂けるよう前橋らしい取り組みを一つ一つして頂ければと思います。

👉 これからは学校教育を!

私も以前より学校教育については総括質問や委員会において質問をさせていく中で、先進的な取り組みをされているのを感じておりますが、他市にはない、前橋らしい学校教育施策が実現されれば、本市への転入者も増えるのではないかと感じます。中でもアクティブ・ラーニングの実現に向けて、各小・中・特別支援学校へ校内無線LANなどのICTを先進的に整備したことは、全国的にも注目されています。

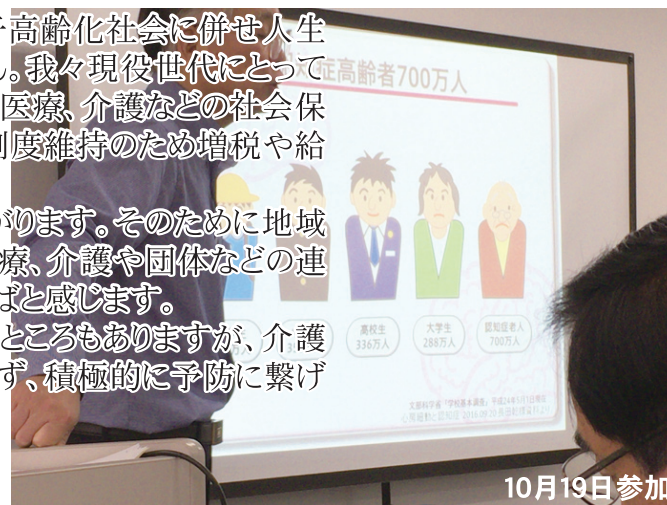
私も先日、都立高校で取り入れられているアクティブラーニングの授業について聞いてきました。前橋らしい学校教育に育っていくよう期待しております。

👉 これからは高齢者福祉を!

10月に地域包括ケアの勉強会に参加してきましたが、少子高齢化社会に併せ人生100年時代と言われる中で、課題は高齢者だけではありません。我々現役世代にとっても、数十年後、自分たちが何歳で働くのかという不安や、年金や医療、介護などの社会保障制度が崩壊してしまうのではないかという不安があります。制度維持のため増税や給付額の削減、給付対象の縮小の繰り返しでは焼け石に水です。

高齢者が健康で元気でいてこそ、財政の負担軽減につながります。そのために地域包括ケアを活用し、受け身でなく積極的に取り組み、地域や医療、介護や団体などの連携の強化と介護予防に努めることで自立をサポートしていければと感じます。

また地域包括ケアは効果を目に見える数値として出しづらいところもありますが、介護予防の効果や市民の認知度を検証していき、1サービスに留めず、積極的に予防に繋げていけるよう研究頂くことを要望させていただきます。



10月19日参加

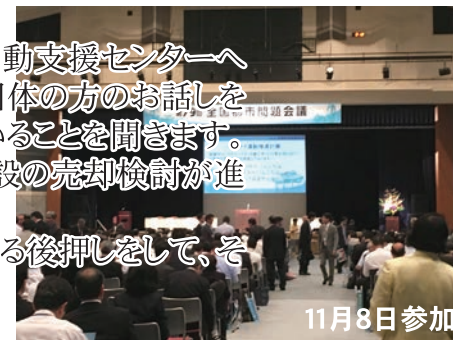
12月 第4回定例会

初当選より連続して、本会も登壇。本会では前橋の、この先の10年(平成39年度まで)の方向性を示す、第7次総合計画について、つつみはじめの重点施策である、子育て支援、学校教育、高齢者福祉、NPOや市民団体について質問と要望を行った。

👉 NPOや市民団体への支援を!

昨今「市民活動の必要性の高まり」を改めて感じております。私自身も市民活動支援センターへはよく伺い、先日も分野別交流会など参加してきましたが、そういった場で、各団体の方のお話を聞いていると、活動する場と活動と呼びかける情報発信について課題を抱えていることを聞きます。昨今は前橋テルサを始め、中心街のQのひろばやおもてなし広場などの公共施設の売却検討が進む中、決して活動環境がよくなっているとは感じません。

市民、行政、企業が活発に協働していけるよう今後も支援をお願いし、自立できる後押しをして、それが将来的に本市の下支えとなるようお願いします。



11月8日参加

👉 所有者不明物件への対応を!

先日テレビを見ていたら急増する老朽化マンションの特集をやっており、その中で実際に紹介されたのが本市にあるマンションでした。番組では老朽化マンションの実態と題して複数の区分所有者不明で放置され、部屋はゴミで溢れ、窓ガラスは割られ、扉はない様子が放送されており非常に残念でなりません。

本市の空き家率は高く、所有者の不明はマンションに限らず、戸建にもあります。今年度も除却を検討している空き家があるということで、早期の対応に感謝致します。所有者不明となると固定資産税等の税収減や、道路拡幅などの都市計画を進める上でも障害となります。建物はその住民とともに歳をとっていき、高齢化や核家族化が進む中、大量相続時代を目前に、今後もこのような所有者不明物件は増えることが予想されていきます。各課で連携をとって頂き、できるだけ早い対応で少しでも所有者不明に対応して頂けるようお願いいたします。

10月～12月の政務活動等

- 太田市・桐生市視察 10/3
- 前橋まつり 10/9・10
- 民生委員100周年大会 10/13
- 東京研修 10/19
- 青少年健全育成大会 10/14
- 四公祭 10/21
- 中核市サミット 10/26
- 市民活動支援センター分野別交流会 11/4
- 全国都市問題会議 11/9・10
- 都市の持つ成長可能性の可視化の勉強会 11/16
- 前橋四公祭 実行委員会会議 11/28
- 日赤病院の跡地に診療 市へ要望 12/4
- 第四回定例会 総括質問 12/8
- 教育福祉常任委員会 12/15
- 新桃井小学校 内覧会 12/24
- 萩原朔太郎文学館 意見交換会 12/26

記載はほんの一部です。本会議開会期間や陳情対応、現場確認から打ち合わせ、祭りや廃品回収などの様々な地域行事、消防団や卓球協会、高校同窓会などの所属団体での活動等、その他の活動は記載していません。詳しくはホームページをご覧ください。

政治は結果、そして未来。

2010年に34万人であった前橋の人口は、2040年に28万人、2060年には22万人にまで減ると推計されている。人口構造も激変していき、2010年に23%あった高齢化率(65歳以上の割合)は2060年には40%まで上がるとされている。医療や介護、年金といった社会保障費は今後ますます膨れ上がり、未来への負担が予想される。いっただいこの先どうなってしまうのか。私はこの一年、高齢者福祉や子育て支援のために教育福祉常任委員として学び活動してきた。人生100年時代と言われてる今、平均寿命は年々上がり、団塊世代が定年を迎える中で、増税や給付額削減の繰り返しでは焼け石に水である。これから生きていく世代の代表として、この先の見えない未来に挑戦していく。まずは目の前の人を、一人ずつ。すべての要望を実現はできないかもしれませんが、すべての要望を聞くことはできます。地域の要望、前橋の未来のために、なにかあればお気軽にご相談ください。

これから8つの項目に

取り組んでいきます!

地域への取り組みは4つ!

- ①新桃井小と第1コミュセンの運用
- ②中央小跡地活用とそれまでの運用
- ③本町五差路の改良
- ④旧町名をどう活かしていくか

市全体の取り組みは4つ!

- ⑤これからの子育て支援と高齢者福祉
- ⑥日赤跡地へ医療施設
- ⑦前橋といえば「コレ!」の開発
- ⑧市政情報の発信と共有

若さで変える、これからの前橋。